

桑名文化協

令和8年9月15日

第60号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<https://bunkyo-kuwana.jp>

『桑名文協』60号発行によせて



『桑名文協』
60号の発行おめ
でとうございま
す。文化協会の

桑名市長 伊藤 徳宇

皆様方には、平成5年の設立時
から桑名市の文化振興にご尽力を
いただき厚く御礼申し上げます。
『文協』第1号には、初代会長の
佐藤勤三氏の言葉として、「美し
く清らかに、そして個性的に」が
掲げられています。とても素晴ら
しいお言葉だと感銘を受けます。

皆様の美しく清らかな個性が、
桑名市に文化という名の潤いを与
え、桑名市を彩りたいせつなピ
ースになっていると感じておりま
す。

文化協会の設立と同じ年に開苑
した六華苑では、今年の4月に入
苑者数が通算150万人を達成し
ました。これもひとえに文化協会

の皆様のご協力があつてのことと
感謝しております。新春六華苑祭
や市民芸術文化祭、そして平成7
年度から始まった月釜茶会など広
く市民の方々が集う催しを毎年開
催していただいたことが150万
人につながり、六華苑を市民文化
向上の中心地へと押し上げていた
だいたのではないのでしょうか。

桑名市ではウェルビーイングな
まちづくりを目指して取り組んで
います。文化活動を通して誰もが
健康で元気に生活していけるよう
に、市としてサポートしていきたい
と考えております。文化協会の
ますますのご発展を祈念しており
ます。



第73回市民写真部門ワークショップを終えて つくって覗いて学ぶ！カメラ・オブスキュラ

美術部門 近藤 茂樹

(全日本写真連盟はまぐり支部)

写真部門では初めてのワーク
ショップを開催しました。25組の
小中学生と親御さんにピンホール
カメラの作製に挑戦していただき
ました。最初は工作になれない
児童もお母さんと共同作業で見
事皆さんカメラ箱を完成しまし
た。物作りの面白さを実感され
たと思います。自作したカメラ
で被写体を覗き込むように見え
るかを一人ひとり体験して頂き
ました。見えるものが正反對に
写る原理等を体感してもらいま
した。

渡つて監修して頂きました針穴
写真機作家の水谷芳春様には改
め感謝の言葉を申し上げます。



「市民芸術文化祭」へのおさそい

演劇の祭典

演劇部門 長谷川浩巳

(劇団すがお)

今年には宮澤賢治生誕百三十年の年で、劇団すがおにとっても創立六十五周年という節目の年でもあります。そこで宮澤賢治の代表作でもある童話『銀河鉄道の夜』を北村想が劇化した『想稿・銀河鉄道の夜』を、十二月十二日(土)、十三日(日)にくわなメディアライヴで上演いたします。

『想稿・銀河鉄道の夜』は原作に概ね即したお話になっていますが、ところどころ原作とは異なります。例えば、「ロケット」や「宇宙人」等、原作にはない言葉が出てきます。また、原作ではジョバンニとカムパネルラは汽車に乗って旅をしますが、「想稿」では星祭りの夜に宇宙ステーションとなる天気輪の駅を舞台に、汽車を待つ不思議な人々との出会いが描かれます。そして何より大きな違いは、ラストに原作にはない

教室の場面があることで、これがこの脚本の大きな魅力の一つになっています。どんなラストなのかは是非会場でご覧ください。

北村作品の中でも特に人気が高いこの『想稿・銀河鉄道の夜』を、令和八年度桑名市民芸術文化祭上演作品として上演するのは、劇団にとつて大きなチャレンジなのですが、新たに入団した劇団員とともに稽古に励み、観ていただきただけのお芝居を創りたいと思います。

ぜひとも多くの皆様のご来場をお待ちしております。



ダンスアートフェスティバル

芸能Ⅲ部門 金田枝里香

(金田枝里香バレエ教室)

今年の芸能Ⅲ部門は「輝く」をテーマに、出演順に金田枝里香バレエ教室、バレエスタジオ・リラ、ラブリーフラ、ルナ・フラメンカの4団体が11月29日(日)柿安シテイホール(大ホール)の舞台に集結します。幅広い世代のダンサーが、それぞれの目標を胸に



日々の厳しいお稽古を重ねてきました。時には思い通りにいかない事も乗り越え、磨き上げた一人ひとりの努力が、この日ひとつの大きな「輝き」となります。見所はそれぞれの団体にありますが、一人で踊るヴァリエーション、全員の心がひとつになる大迫力のアンサンブルの踊りです。

少子高齢化が進む現代だからこそ文化、芸術はどの世代にとつても無くてはならない生涯にわたる受け継がれていくべきものです。舞台に立つ演者と客席の皆さんがひとつになれる心が躍る音楽、華やかな衣装、そして何より踊り手たちが客席を包み込みます。素晴らしい時間をぜひ共に過ごしましょう。会場でお待ちしています。

吟剣詩舞道の祭典

芸能Ⅱ部門 多胡峻風

(桑名市吟剣詩舞道連盟)

十一月三日(祝)文化の日、柿安シテイホール小ホールにて「吟剣詩舞道の祭典」を開催いたします。吟剣詩舞は、漢詩や和歌を吟じ、その精神を剣舞・詩舞によって身体で表現する、日本の伝統芸能です。武士が精神修養として詩

歌を吟じ、武の心を磨いたことに源流を持ち、今日まで受け継がれてきました。言葉の美しさ、舞の気迫、静と動が交錯する舞台は世代を超えて人々の心を打ち続けています。

本祭典では、市内で活動する四つの吟剣詩舞道の団体が一堂に会し、日頃の研鑽の成果を披露します。古典の名吟から現代詩まで幅広い演目をお届けし、力強い剣舞、しなやかな詩舞、そして声の響きが織り成す舞台を存分に味わっていただけます。「伝統芸能は難しそう」と思われる方にも、気軽に触れていただけるよう、親しみやすい構成になっています。



桑名市民芸術文化祭の一つとして行うこの祭典は、地域の文化を知り、楽しむための大切な機会です。秋の文化の日、心に響く日本の芸の世界にふれてみませんか。皆さまのご来場をお待ちしています。

花に想いを託す

茶華香道部門 堀場 壽子
(池坊)

古代エジプト王朝ツタンカーメン王墓の副葬品に、花輪や花束がいくつも存在していたことは、よく知られています。何千年も前から、人類は花に想いを託す術を知っていたのではないのでしょうか。

社会構造も人々の生活や思考、時間の流れまで激変した現代においても、この「花に想いを託す」という行為は「いけばな文化」という形で継承されているのではないかと考えます。

いけばなは、花木を素材とした芸術としての一面もありますが、日々の生活の中で、一輪の花、一振りの枝を愛でること、想いを伝え癒しを得ることこそが、本来の姿であり、文化として認められる

所以だと考えます。

華道には、300以上の流派が存在すると言われています。伝統的様式から自由的発想様式まで、各流派によつて、作品制作の方法、作品の形などは大きく異なります。しかしながら、その根底にあるものは、脈々と息づく人々の想いであり継承されてきた文化であると言えるのではないのでしょうか。

桑名市民芸術文化祭には、毎年華道六流派が参加し、それぞれに個性ある作品が出展されます。会場は華やかに彩られ、ご高覧いただく方々に一服の安らぎと癒しの時空間をお届けいたします。加えて、花木の持つ魅力をお伝えできればと願っております。

ご来場をお待ちしております。



第35回 桑名市民芸術文化祭 ポスター原画表彰式

今年度の文化祭ポスター原画には、幼稚園児から80歳代まで17点の応募があり、水彩画をはじめ、水彩画にクレパスをプラスしたり、折り紙を張り付けたものやグラフィックアート等、工夫をこらした力作が集まりました。

優秀賞には、桑名市在住の小林優日さんが選ばれました。

桑名の名産であるまぐりの貝合わせをモチーフに、石取祭車、六華苑、花しようぶ、連鶴等桑名にゆかりのあるものがつめこまれた作品です。

佳作には、桑名市在住の大和なぎさんが選ばれました。今は見ることのできない桑名城をバックに折り鶴に乗って空を飛ぶ本多忠勝とゆめはまちゃんを描いた作品です。

8月10日に関係者による表彰式を行いました。



小林優日さんと大和なぎさんを囲んで

第35回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

芸術・文化を身近に感じて楽しんで！
多彩なイベントでお待ちしております。



趣味教養祭(水石展) 【入場無料】

10月24日(土) 12時～17時
10月25日(日) 9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

華道展 【入場無料】

10月24日(土) 13時～16時
10月25日(日) 9時～15時30分
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

お茶会 【六華苑入苑料必要】 【呈茶券】
【呈茶券必要】 前売 お茶二席 2,300円(入苑料込)
11月3日(火・祝) 10時～12時 当日 お茶一席 1,000円(入苑料別)
13時～15時30分 一般460円/中学生150円/小学生以下無料
(入場受付15時まで) 【入苑料】
前売券は文化協会事務局・六華苑にて販売

場所:六華苑 一の間:遠州流茶道 離れ屋:表千家流

吟剣詩舞道の祭典 【入場無料】

11月3日(火・祝) 12時30分～16時(開場 12時)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール

芸能の祭典(日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)

11月 7日(土) 13時～16時(開場 12時) 【入場無料】
11月 8日(日) 10時～16時(開場 9時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

美術部門展 2026 【入場無料】

11月20日(金) 12時～17時
11月21日(土) 9時～17時
11月22日(日) 9時～16時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

音楽のフルコース 【入場無料】

11月22日(日) 13時～16時(開場 12時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール

社会文化部門展 ～本年の話題から～ 【入場無料】

11月28日(土) 9時30分～16時30分
11月29日(日) 9時～16時
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

趣味教養祭(きもの・パッチワーク) 【入場無料】

11月28日(土) 9時～17時
11月29日(日) 9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

小倉百人一首 初心者かるた取り大会 【見学無料】

11月29日(日) 9時30分～17時 【参加費・申込必要】
場所:くわなメディアライヴ 2F 和室

ダンスアートフェスティバル 【入場無料】

11月29日(日) 14時～17時 20分(開場 13時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

趣味教養祭 くわコレ'26 【入場無料】

12月5日(土) 13時～16時
12月6日(日) 9時～15時
場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

演劇の祭典 【チケット購入必要】

劇団すがお創立65周年 第103回公演 前売:1,500円
「想稿・銀河鉄道の夜」 中高生:500円
小学生:100円
(当日はプラス300円)

12月12日(土) 18時～20時(開場 17時30分) チケットのお求めは、
12月13日(日) 13時～15時(開場 12時30分) 劇団すがおHPをご確認ください。
<https://gekidan-sugao.org/>

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

「桑名文協」第61号に文芸作品発表

2027年3月発行
各まちづくり拠点施設、公共施設等にて配布

☆最新の情報は桑名市文化協会ホームページをご確認ください。

参加型のコンテンツのあるイベントです。
様々な文化体験をお楽しみください。
(材料費別途必要な場合もあります。)



<https://bunkyo-kuwana.jp>

☆お問合せ:文化協会事務局(観光課内)(TEL24-1361 FAX24-1140)まで

●協賛事業

70周年を記念して、それぞれの会員の想いのこもった作品を展示します。ぜひ、ご覧ください。

全日本写真連盟桑名支部 創立70周年記念写真展

10月9日(金)～10月11日(日) 9時～17時(最終日15時まで)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

ビッグバンドの迫力あるサウンドをぜひ聴きにきてください。 【チケット購入必要】

第27回 トーインポップスコンサート チケット 1,000円
12月12日(月・祝) 13時～(開場 12時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

令和8年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

	申請者	事業名	開催期日	開催場所
1	桑名国際文化交流委員会	日韓文化交流 ― 国交正常化60年	R8年4月11日～4月14日	在日本大韓国民団桑名支部
2	桑名演劇協会	桑名演劇協会主催 ①演劇公演プレイベント平和を考える講演会 ②平和を考える市民による演劇公演	①R8年6月7日 ②R8年7月11日～7月12日	①精義まちづくり拠点施設 ②光精工コミュニティプラザ
3	全日本写真連盟 桑名支部	全日本写真連盟桑名支部 創立70周年記念写真展	R8年10月8日～10月11日	柿安シティホール
4	トーン・ポップス・オーケストラ	第27回トーンポップスコンサート	R8年10月12日	柿安シティホール
5	桑名美術クラブ	桑名美術クラブ50周年記念展	R8年10月15日～10月18日	柿安シティホール
6	池田順子	池田順子とひも絵仲間会作品展	R8年11月27日～11月29日	六華苑
7	Piano study	第12回 Piano study 音楽発表会	R9年2月12日～2月13日	柿安シティホール
8	金澤 聡子	ピアノ&ソプラノコンサート ～姉妹の響き～	R9年3月7日	柿安シティホール

久しく途絶えていた国際交流

社会文化部門

桑名国際文化交流委員会

石川 郁子

四月十二日、久しく途絶えていた国際文化交流が実現し心躍りました。三ヶ月前に連絡を受け会場を探しましたが無く在日大韓国民団支部をお借りする事が出来、桑名国際文化交流委員会と劇団がおの会員と在日大韓国民団の協力のもと、やっと九十席近くを確保致しました。

上演劇は『ベルナルダ・アルバの家』独裁的で権威的な女主人ベルナルダの娘たちと抑圧と支配、反発心と自由への渴望が複雑に絡み合い女性として受けなければならなかった不当な扱いに娘たちを破滅へと導いていくものでした。言葉もわからず困ったと思

った時、プロジェクトで字幕を出し、理解が良く出来ました。又終了後も観客と劇団員の交流が有り感動の内に幕を下ろしました。お客様からは、大変良かったと口々にお褒めを頂きました。交流会後も劇団がおの会員や桑名国際文化



交流委員会、在日大韓国民団の人達に来年は是非こちらに来てくださいとお誘いを受けました。帰り際には市長を敬訪問し楽しい締めくくりが出来ました。駅ホームでは名残り惜しく、列車が動くまで手を離せません。思いうを沢山持って帰国の途に就きました。

平和を考える市民演劇公演

上演報告

演劇部門 桑名演劇協会

脚本・演出 相原 千景

(演劇集団Cブレンド)

劇団がお・演劇集団Cブレンド二劇団で構成する「桑名演劇協会」で、『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』を上演しました。現代の女子中学生が第二次世界大戦末期にタイムスリップし、特攻隊の若者と出会い恋に落ちるストーリー。原作は若者に人気でベストセラーとなった小説、映画化もされ若者の支持が高い作品です。それを、初の本格舞台化。光精工コミュニティプラザの500席が2回ともほぼ満席のご来場、お客様からは大変ありがたい高評価をいただきました。

出演は、二劇団の役者に加え公募で、市内外、県外からも集まり、小学2年生から80代まで40人。とくに中高生など若い人の参加が多く、戦争というテーマに真摯に向き合い取り組む姿は頼もしく、多世代でお互い助け合い学び合いながら一丸となって創れたこ

とは、大変意義深いことでした。

今回、「演劇で戦争を伝える」ことに大きな意味を見出しました。大切にしたのは「舞台の上で生きる」と。戦後80年を越え戦争を知らない世代がほとんどになった今、話を聞いても本を読んでも、戦争は遠い歴史やお伽話のようだとさえ思う、という人が多いと聞きます。しかし、目の前に「その人」がいて「生きて」いたら、それらは「事実だったのだ」と伝わる。現在も戦争は起きていて日本も紙一重であるという



うことに、実感を持って目を向けられる。お客様からは「本当にあった歴史で、彼らは生きていて、今の私たちと同じように考え感じて戦争や死に向き合っていたのだとわかった」などの感想をいただきました。「歴史物のラブストーリー」ではなく、何もかも奪ってゆく戦争の恐ろしさ、その中を懸命に、思い合いながら生きた人々を、令和の若者である主人公という存在を通して観客が見るのです。さまざまなシーンで客席は吸り泣きに包まれました。観劇直後には「戦争は「嫌だね」「繰り返してはいけないね」と、泣き腫らした顔で言ってくたさる方がたくさんありました。伝わったね、と、座組みみんなで喜びました。私たちは「演劇」で、反戦を伝える役割を、これからも担い続けたいと強く思った公演でした。

活動にスポット

桑名支部創立七十周年を迎えて

美術部門

全日本写真連盟桑名支部

竹中長彦

昭和三十一年に二十名、平均年齢二十八歳で発足した全日本写真連盟桑名支部が、令和八年で七十周年を迎えました。

全日本写真連盟は、朝日新聞社が後援する全国組織のアマチュア写真愛好家団体です。支部発足以来写真コンテスト等で数々の実績を上げ、また随時写真展を開催し市民の皆様に大好評をいただいております。

写真環境もフィルムからデジタルへと移行するなか、最近では生成AIでの作品づくりも可能となるなど、写す写真から作る写真へと変化の兆しもみられます。当会員の間でもAI等加工作品に積極的な考え方が一方でAIに警戒感を抱いている考え方もあります。従来からのデジタル作品とAIの狭間で活動の場を、どう選択するのかが問われています。AIには、さまざまな使い方があっても事実であり、作品作りの主体はあくまで自分であるとの意識のもと、これからも試行錯誤しながら、趣味の作品作りを楽しみながら、進めたいと思っております。

今年の十月九日から十一日まで、柿安シティホール一階展示室で、桑名支部創立七十周年記念写真展を開催します。是非お立ち寄り下さい。



桑名美術クラブ50周年記念展

美術部門 桑名美術クラブ

安田隆亮

コロナ禍時、名古屋の美術館は休館、会場縮小等また感染防止対策を講じての開催でした。それでも愛知県美術館ギャラリーでの発表活動をする公募団体は制作、発表展示に意義を感じつつ活動を続けていました。色々制約を受けての開催なので、どの公募団体も予

想にたがわず観客数は少なくガラガラの状態でした。

コロナが終息するにつれ観客も戻ってはきましたが、美術制作に対するモチベーションが自分の気持ちの中で随分下がった感が否めません。

さて、世界に目を向けますと、世界各地での戦争がここ数年続いています。何とか早く終息して世界が平和を取り戻しますように願うばかりです。アートが平和な条件のもと、光り輝く時が来ますように。

ここで、私達の桑名美術クラブ



の紹介をさせて頂きます。桑名美術クラブは今年創立五十周年を迎えます。発足当時、桑名には公募団体に所属するプロ作家が五、六名おられました。二紀会、春陽会、美術文化、自由美術など、その諸先生方が中心に立ち上げた会で、桑名では最初の美術クラブです。その後、浮き沈みはありましたが、諸先輩の意志を何とか引き継いでまいりました。

令和八年十月十五日から十八日まで記念展を柿安シティホール展示室にて開催いたします。ぜひご高覧いただきますようお願い申し上げます。

競技かるたの普及活動

趣味教養部門

三重県かるた協会桑名若菜会

加藤 誠

私たちは定期的な練習会により会員相互の技能向上をはかるとともに、県内の競技かるた普及にも力を注いでいます。今回は普及活動についてご紹介します。

競技かるたの経験のない方向けには親子・友人同士でチームを組み、和気あいあいとした雰囲気の中でかるた取りを楽しんでもらう大会を桑名市、明和町で毎年開催しています。また、競技かるた初心者向けには実力を競うとともに



初心者かるた取り大会のようす

大会に参加する上でのマナーを学ぶ機会として、全国大会と同じ形式での大会を継続開催してきました。こちらは東員町、鈴鹿市、明和町での開催となります。長く続けていけるものは三十六年前から、短いものでも二十三年前から継続実施してきました。三重県での競技かるた普及振興に大きな寄与をしているものと自負しています。

今後はトップ選手の競技を生で観戦する機会を設ける、選手と実際に対戦する機会をつくるなど、競技かるたの魅力である速さ・美しさを体感できるようにイベントを実施したいと考えています。このような施策を実現するためにはマンパワー・資金の確保をはじめ多くの課題・困難があるものと推察しますが、県内の競技かるた普及を更に押し進めるため一歩一歩進めてまいります。みなさまには暖かい目で見守っていただきますようお願い申し上げます。

第40回定期演奏会を開催しました

音楽部門 桑名弦楽合奏団

井戸 毅

当団は1990年に桑名市で創立した弦楽アンサンブルの団体です。この度、第40回定期演奏会を開催しました。この演奏会では、当団に小学生から中学生にかけて在籍し、現在は東京藝術大学に在籍している、鷺野仁美さんをソリストに迎えメンデルスゾーン作曲のバイオリン協奏曲を演奏し、来場いただいた皆様から大変ご好評をいただきました。

小学生の頃の鷺野さんと一緒に演奏していた私は、素晴らしい演奏に引き込まれるとともに、バイオリニストとして活躍されている姿はとても感慨深いものがありました。世代や立場を超えて音楽は



楽しめることを、体感した貴重なひと時でもありました。また、客席には長く顔を合わせていなかった元団員の姿があり、終演後には久しぶりの再会もありました。人と人をつなぐ音楽の力を改めて確かめた一日でもありました。

今回のコンサートは12月に開催する「地域巡回コンサート」です。地域巡回コンサートは公民館やお寺の本堂などで演奏しており、お客様との距離が非常に近いのが特徴で、楽器の音はもちろん演奏者の息づかいやちよつとした仕草までよくわかります。演奏者にとつてはスリリングな一面がある一方、お客様の反応や表情までよくわかり、とても大切にしている演奏会です。ぜひお越しくださいます。音楽は団員を募集して一緒に音楽の持つ力を体感しましょう！

文と十七音の心地よさ

文学部門

俳句を学ぶ会

水谷善幸

初めて手にした小説ですか。下村湖人の「次郎物語」島崎藤村の「破戒」それとも教科書にあった芥川龍之介の「杜子春」だったでしょうか。国語の教科書で文字の一片を齧(かじ)ることがにより文学を身近に感じる事が出来ました。夏休みの日記、授業の作文と今度は書き手として嫌々ながらも文章に触れています。

私たち文学部門は点数も書き取りもありません。

十七音の俳句。

情景、感情を込める自由詩。

思いを大切に、感動を文字にして文学に触れる活動をしています。私達と俳句、自由詩、川柳、エッセイと文学に触れてみませんか。



桑名地名あれこれ(35)

社会文化部門
(個人会員)

石占(いしうら)

大河内 浩

日本一やかましい祭として知られる「桑名石取祭の祭車行事」を含む日本全国33件の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されて、本年度10年を迎えます。石取祭の起源は、神社の例大祭を迎えるにあたりその社地を整えるために清らかな石を運んだことに由来するとされます。

太古の昔、人びとは石を生きて成長するものと考えて神聖視し、石の個数や大小軽重で吉凶を占う石占という風習があり、江戸時代から明治時代の諸書で、石取神事は古代石占の遺風か、という記述があります。石占は『日本書紀』の景行天皇27年に石占横立(石占という所の横立という者)や、『続日本紀』の聖武天皇17年(七四〇)に石占頓宮(石占の地での仮住まい宮)が初見です。



石占の行われた地は石取祭の淵源でもあり、石取祭で清らかな石を拾い採るのに先立って祓い清める行事に受け継がれています。

延喜式神名帳という、今から一〇〇年ほど前に編集された全国神社名鑑の中で、桑名郡15座の内桑名神社2座はその筆頭で、太古の昔からあることは判りますが、当時は現在の桑名市街地は海面下で、序列順から多度山麓辺りかと考えられます。ただ明治21年神社検録に考証のとおり諸書が論じる一座のほか、必ずもう一座あったはず。

本シリーズ(16)の小野山伝説でも書きましたが、天武天皇が桑名を通ったのは史実で、それに纏わる伝説で、上野の地が石占Ⅱ石取祭発祥の地、太夫の益田神社太神楽縁起にも「石占の名も中古改めて上野村と称す」とあります。古代石占の地の有力説で、桑名神社はその後の桑名市街地の形成に伴って桑名総鎮守となりました。



桑名神社は天承元年(1131)遷宮や仁平2年(1152)造営の記録があり平安時代末期に現在地へ移遷か。

ご賛助いただいております
特別会員の皆様 9月1日現在
(五十音順)

一般社団法人アトス・スペース美園様
医療法人 桑名病院様
医療法人 誠会山崎病院様
魚重様
NTN株式会社 桑名製作所様
お菓子処「和」様
カネソウ株式会社様
株式会社 朝日精工様
株式会社 歌行燈様
株式会社 グランビル様
株式会社 山水園様
株式会社 水谷精機工作所様
株式会社 レイ・ステージ桑名様
木村洋子様
Crewer・Cotton・Cotton様
桑名シティホテル様
桑名三重信用金庫様
在日本大韓民国三重県桑名支部様
茶道裏千家 丹羽宗俊様
中央不動産株式会社様
花新江場中店様
花乃江乃舎様
光精工株式会社様
ヒルカワ金属株式会社様
三重精機株式会社様
森田フードシステム株式会社様
諸戸コーポレーション株式会社様
有限会社 茶茂様
有限会社 丁子屋様

日頃よりご協力いただき、
深くお礼申し上げます。

編集後記

世界は有為転変、良くも悪くも凄まじい程に動いています。そんな中で「桑名文協」は早くも六十号となりました。継続は力なりと言いますが、心から嬉しい限りです。そんな時代の中ではありますが、我を失うことなくこれからも皆さんと引き続いて楽しい活動をしたいと思っています。「桑名文協」が人生の有意義な一コマになりますように今後とも宜しくお願いします。

(安田 治三)

広報担当副会長 安田 治三
広報担当副会長 岡本 早苗
委員 文学部門 水谷 善幸
委員 文学部門 佐藤 武男
委員 文学部門 葛巻 ゆかり
音楽部門 杉野 さおり
芸能Ⅰ部門 多胡 俊一
芸能Ⅱ部門 近藤 美詠子
芸能Ⅲ部門 相原 千景
演劇部門 茶華 香道 片山 和子
茶華香道部門 大河内 浩
社会文化部門 加藤 誠
趣味教養部門